

理事長挨拶



公益財団法人 生涯学習振興財団
理事長 沖永 佳史

「財団法人生涯学習振興財団は、生涯学習会館を設置し運営すると共に、地域社会の要請に応じ、教育、文化、健康、福祉などに関する事業を実施し、もって、豊かで活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。」として、昭和63年7月8日に発足、福岡県教育委員会の指導の下で、30年余の歴史を刻んできました。

法改正に伴い、事業内容が全国に及ぶものがあり、内閣府公益認定委員会に公益財団認定の申請を行いました。その結果、関係者の支援をいただき平成26年3月に認定が適当との答申を受け、平成26年4月1日新たに名称を「公益財団法人生涯学習振興財団」として、新たな歴史をスタートしました。

本財団の主たる目的は次の三つです。

(一) 小論文コンクール・ジュニア美術展の開催、
(二) 高齢化を迎えた地域社会の活性化を目的とし、教育、文化、健康福祉の面から公開講座や各種学習支援を行う事業。

公益財団法人 生涯学習振興財団

財団通信

発行所
〒832-0814
福岡県柳川市三橋町垂見18-2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452
FAX 0944-72-1803
発行人 理事長：沖永佳史
編集人 事務局員：井上正明



生涯学習会館

公益財団法人 生涯学習振興財団
生涯学習会館

(3) 青少年健全育成及び地域住民の活力ある諸活動の支援を公益目的事業として、活動することとしています。

このように、全国規模での高校生・中学生の書道や美術等芸術に対する興味・関心を高める事業の展開さらには広く地域社会の活性化や地域住民の方々の教育や文化、健康や福祉に関わる事業の充実という大きな目的を持って実施することとされています。

これまでも、監督庁でありました福岡県教育委員会をはじめとして、地域の皆さん方からの支援をいただきながら目的達成に向けて努力をして参りますので、今後ともよろしくご支援いただきますようお願いいたします。

公益事業紹介

高校生小論文コンクール

次世代人材の育成をめざし、毎年高校生対象に高校生小論文コンクール事業を行っています。5月に募集し、10月末を締切りとし、その選考結果は元旦の読売新聞西部本社版全1面で発表し、1月下旬に福岡市で表彰式を行い、3月までに優秀作品集を発行しています。共催読売新聞社、後援などは文部科学省をはじめ西日本11県、そして帝京大学・帝京大学グループの特別協賛をいただいております。

基本テーマを「今こそ大志を語れ」とし、今年二十七回を迎えますが、応募は、全国から約1万を超える応募をいただいております。優秀作品として、個人の最高賞には、初代沖永莊一博士の次世代の若者に対する熱い思いを「熱き夢」と題した彫像に託し「沖永莊一博士大賞」を授与しており、その他個人部門、グループ部門について各賞が贈られています。

筑南ジュニア美術展

発足して36回目を迎えるこの美術展は、幼・小・中学生を対象に



主に筑後地区(県南)を主な募集地域として、絵画、習字部門に分けて、毎年5月下旬から募集を開始し、9月初旬に締切り、審査ののち、10月の中旬に入賞者(一部代表者)の参加の下で、盛大な表彰式を行っています。昨年は、8千点近い応募があり、特別理事長賞をはじめ各入賞作品は館内に展示し、展示会を行っています。その後、優秀作品は過去のものを含めて館内に展示し、「筑南美術館」として一般公開しています。

公開講座



学習教室

英会話・絵画教室(小学生)・親子書道・写経・柳川まり・ヨガ等、実施しています。



※財団では、各催しへの参加者の募集とともに、新たな学習クラブの設立も応援します。相談は財団事務局へ

令和6年度 第26回高校生小論文コンクール表彰式

高校生諸君の未来への夢や希望を「今こそ大志を語れ」というテーマのもと、小論文の形式で募集する当コンクールは、おかげさまで26回目を迎えました。今回は全国46都道府県から1万点を超える作品を応募していただき、中身の濃い、若さ溢れる高校生の大志が届きました。熱い思いを論文に込めて応募してくださいました。先生方、審査委員の皆様、そして当コンクールをあらゆる形で応援して下さる関係者の方々に心より感謝し、厚くお礼を申し上げます。「今こそ大志を語れ」というテーマは、当財団の初代理事長である沖永荘一博士が提唱したものです。自身が戦後の混乱期に青春時代を送った経験から、混乱の中にあっても自分自身を見失うことなく、自分たちは何をすべきか、どういう将来を構築していくべきなのか、を考えてほしいという今の若者に対するメッセージでございます。

今回は、個人部門で沖永荘一博士記念大賞(最優秀賞)に、熊本県立南陵高等学校2年の原口煌人さん、優秀賞に愛知県立安城農林高等学校1年の内田香蓮さん、読売新聞社賞に札幌聖心女子学院高等学校3年の伊藤理央さんが受賞されました。また、グループ部門では、最優秀賞に福岡県立八女農業高等学校3年の4名の皆さん、優秀賞に愛知県立安城農林高等学校1・2年の6名の皆さんが受賞されました。特に、今回のそれぞれの受賞作品を見ますと、身近にある題材を取り上げて、独自の視点から課題解決のために創意工夫しながら実践している内容が多く見られました。

また、今回優秀学校賞を受賞されました、眉山女学園高等学校、浜松学芸高等学校、ありあけ新世高等学校の皆様方には当コンクールに積極的かつ継続的にご支援いただきましたことに改めて感謝申し上げます。



読売新聞社賞 伊藤 理央さん(左)
沖永博士記念大賞 原口 煌人さん(中)
優秀賞 内田 香蓮さん(右)



沖永博士記念大賞
熊本県立南陵高等学校2年
原口 煌人さん



読売新聞西部本社
編集局次長 兼 文化部長
川浪 康裕氏



読売新聞西部本社
代表取締役社長
増田 雅己氏



生涯学習振興財団
理事長
沖永 佳史氏



グループ部門
愛知県立
安城農林高等学校
優秀賞



グループ部門
福岡県立
八女農業高等学校
最優秀賞



表彰式を終えて受賞者全員で記念写真

第26回高校生小論コンクール受賞者

・審査結果 部門別に 受賞名 受賞者 学校名 作品名の順で紹介

・敬称は省略いたします また順不同となっております

個人部門

沖永荘一博士記念大賞 (最優秀賞)

原口 煌人

熊本県立南稜高等学校 2年

心に木を植える ～この手で拓く！地域と私の可能性～

優秀賞

内田 香蓮

愛知県立安城農林高等学校 1年

家庭から始める水資源保護と温暖化対策

ミミズコンポストの可能性

読売新聞社賞

伊藤 理央

学校法人聖心女子学院 札幌聖心女子学院高等学校 3年

伝統産業を次世代へ

優良賞

平松 咲希

福岡県立明善高等学校 1年

Education is the only solution

井戸 彩名

広島県立広島叡智学園高等学校 2年

縁と恩を紡ぐシマ

川北 利希

学校法人桐蔭学園 桐蔭学園高等学校 3年

自分のもう一つのアイデンティティ

池田 大輝

学校法人創価学園 創価高等学校 3年

大志と弁護士

奨励賞

花岡 瞳

福岡県立筑紫丘高等学校 1年

私の夢

貞信 優奈

学校法人盈進学園 盈進高等学校 1年

こことからだを支える

山田 裕貴

福岡県立八幡高等学校 2年

未来への一歩、雇用創出と農業の結び付き

吉田 新菜

福岡県立明善高等学校 1年

創業で命を救う

遠藤 有華

東京都立南多摩中等教育学校 2年

看護と支え合う未来

猪野 真央

広島県立広高等学校 2年

心の栄養

江本 夏乃風

兵庫県立農業高等学校 3年

助けあえる未来のために

税田 紗永

宮崎県立宮崎大宮高等学校 2年

難民問題解決のために

前谷 正美

学校法人創価学園 創価高等学校 3年

心を救える小説で恩返しを

安富 瑠夏

学校法人関西学院 関西学院高等部 3年

将来の夢

山口 瑠璃

佐賀県立小城高等学校 2年

いつか来る別れのために

大村 龍輝

岡山県立西大寺高等学校 2年

憧れを永遠に

中島 結良

学校法人柳井学園 柳井学園高等学校 2年

「ちり積も回収」で知った共助の心

今井 結

学校法人北越高等学校 2年

あの香りと私の夢

奨励賞 14名

グループ部門

最優秀賞

下川 瑞生 / 塚本 秋穂 / 西嶋 琳花 / 室園 心杏

福岡県立八女農業高等学校 3年

aroma project ハーブウォーターの活用について

優秀賞

加藤 晶久 / 小林 奨真 / 外山 菜月 / 石川 瑠菜 / 岸上

洪喜 / 内田 香蓮

愛知県立安城農林高等学校 1・2年

ミニトマト生産・販売における

食品ロス低減への取り組み

学校部門

前年に引き続き全校的に継続的かつ積極的に取り組まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

優秀学校賞

福岡県 福岡県立ありあけ新世高等学校

愛知県 学校法人椋山女学園 椋山女学園高等学校

静岡県 学校法人信愛学園 浜松学芸高等学校

学校賞

東京都 学校法人明星学苑 明星高等学校

〃 学校法人東亜学園高等学校

京都府 京都市立堀川高等学校

大阪府 学校法人桃山学院 桃山学院高等学校

奈良県 学校法人西大和学園 西大和学園高等学校

兵庫県 神戸学院大学附属高等学校

福岡県 福岡県立久留米高等学校

〃 学校法人不知火学園 誠修高等学校

〃 福岡県立筑紫丘高等学校

〃 福岡県立伝習館高等学校

〃 福岡県立福岡工業高等学校

〃 福岡県立福島高等学校

〃 福岡県立三池高等学校

〃 福岡県立武蔵台高等学校

〃 福岡県立八幡高等学校

〃 福岡県立山門高等学校

〃 福岡県立八女高等学校

鹿児島県 鹿児島県立鶴丸高等学校

学校賞 18校

令和7年度 公益財団法人 生涯学習振興財団 公開講座

受講希望の方は、直接、財団をお願いします。
〒832-0814 福岡県柳川市三橋町垂見 18の2
公益財団法人 生涯学習振興財団
TEL 0944-72-5452 FAX 0944-72-1803

講座名: **X線 CT検査の新常識**
～何がわかるの? 気になる被ばくは?～
講師: 診療放射線学科 渡邊 亮
日時: 2025年5月21日(水) 13:00～14:30
内容: 病院での診断から検診や予防医療にも活躍するCT検査の最新線と気になる検査被ばくについて、近年の技術情報を交えながらご紹介いたします。

講座名: **「ストレス」～驚異の生体防衛システム**
講師: 作業療法学科 田上 真二
日時: 2025年5月28日(水) 13:00～14:30
内容: ①ストレスについて大脳生理学的に解説します。
②皆さんで実際に「ストレスタイプ」をチェックします。
③「ストレスタイプ」に合わせたアドバイスを行います。

講座名: **やってみよう、マインドフルネス**
講師: 看護学科 太田 光紀
日時: 2025年6月11日(水) 13:00～14:30
内容: マインドフルネスは Jon Kabat-Zinn 博士によって禅仏教から生み出されたもので、ストレス軽減にも効果があるとされています。基本的な考え方や日常生活にも取り入れやすい実践方法をご紹介します。



- 会場 公益財団法人 生涯学習振興財団(生涯学習会館)全講座とも生涯学習会館です。
- 対象 一般の方(記載事項に定員のある講座以外の募集人員は40名)
- 受講料 無料

講座名: **膝を守るためのトレーニング**
～理論に基づくトレーニングの実践～
講師: 理学療法学科 関 誠
日時: 2025年6月13日(金) 13:00～14:30
内容: 膝の痛みや変形が悩んでいませんか。その痛みや変形が起きてくるメカニズムを説明し、「膝を守るためのトレーニング」について実技をまじえながら講義を行います。

講座名: **「身近に潜む毒の危険と対処法」**
～知って安心! 身近な危険生物(毒蜂・ハチ・ヒアリ)と毒の対処法～
講師: 医療技術学科 塩井 成留実
日時: 2025年7月23日(水) 13:00～14:30
内容: 夏になると身近になる毒蜂、ハチ、ヒアリなどの毒を持つ生き物たち。自然の中で出会うこともある彼らについて、「どんな特徴があるのか?」「どうやって身を守るのか?」「もし刺されたり噛まれたら?」といった基本的な知識を、子どもから大人まで楽しく学べる内容で紹介いたします。特に高齢者や小さなお子さんがいる家庭にとっても、命を守るために大切な「備え」として役立つ情報をお届けします。

講座名: **英語の発音で、脳も顔筋もいきいきトレーニング!**
講師: 作業療法学科 三木 采緒美
日時: 2025年7月30日(水) 13:00～14:30
内容: 会話でよく使われる英語表現を使って、英語特有の音の変化を学び、発音練習を行います。発音力を鍛え、口周りの筋肉を使って、脳と顔筋のトレーニングをしましょう!

第27回 作品募集 高校生小論文コンクール

「オンライン」の「夢」を叶えよう!

第27回 高校生小論文コンクール

今こそ大志を語れ

2025年10月31日(金)

賞状には 賞金 10万円

特色テーマ / テーマ

今年募集の中心

●個人部門 ●グループ(複数)部門

●賞状 ●賞金

●応募資格 ●募集期間 ●募集要項

●お問い合わせ先 ●お問い合わせ先

第36回 作品募集 筑南ジュニア美術展

令和7年度 第36回 筑南ジュニア美術展

中三 永島さくら

六 黒

伝統文化 作品募集

募集期間

応募資格

募集要項

お問い合わせ先

主催: 公益財団法人 生涯学習振興財団 (後援) 福岡県教育委員会、西日本新聞社

協賛企業

◎ オフィス結

◎ 福博総合印刷(株)

令和6年度 事業報告

令和6年4月～令和7年3月

月	日	事業項目
4	1	生涯学習クラブ 開講 (縮緬布工藝、柳川さげもん、グランドゴルフ)
4	13	ゆめ夢クラブ 開講 (英会話、美術 土曜日) 親子書道 (月3回 日曜日)
4	24	財団会計監査
5	16	高校生小論文コンクール案内発送・高校訪問準備
5	26	理事会 (財団通信 No.89 発行)
6	20	第35回筑南ジュニア美術展案内発送・教育委員会訪問
6	15	評議委員会
7	5	公開講座 第一講座: あなたは大丈夫? 2人に1人がかかる「がん」への備え 講師: 佐藤典宏 (帝京大学福岡キャンパス 医療技術学科)
7	6	公開講座 第二講座: ドローンを活用した医療支援の取り組み 講師: 宮田賢宏 (帝京大学福岡キャンパス 医療技術学科)
7	7	公開講座 第三講座: 膝を守るためのトレーニング～理論に基づくトレーニングの実践～ 講師: 関誠 (帝京大学福岡キャンパス 理学療法学科)
7	20	公開講座 第四講座: パーティリハビリ体験講座 講師: 沖雄二 (帝京大学福岡キャンパス 作業療法学科)
7	21	公開講座 第五講座: がん治療の「バネ」 講師: 龜澤秀美 (帝京大学福岡キャンパス 診療放射線学科)
7	27	公開講座 第六講座: 健康データの様々なデータや最近の動向など～ 講師: 森山浩司 (帝京大学福岡キャンパス 看護学科)
9	16	第35回筑南ジュニア美術展応募作品締切
9	14	第35回筑南ジュニア美術展応募作品審査
10	19	第35回筑南ジュニア美術展表彰式 (財団通信 No.90 発行)
10	19	第26回高校生小論文コンクール予備審査 (第1次から第3次審査)
11	2	公開講座 第七講座: 認知症の基本と予防体操の実践 講師: 才川智大 (帝京大学福岡キャンパス 看護学科)
11	30	公開講座 第八講座: 「レゾナンス」ってなんだらう?～職場や学校での合理的配慮を考えよう～ 講師: 丸本つぐみ (帝京大学福岡キャンパス 作業療法学科)
12	1	第26回高校生小論文コンクール最終審査
1	1	第26回高校生小論文コンクール審査結果発表 読売新聞紙上
1	26	理事会 (財団通信 No.91 発行)
1	26	第26回高校生小論文コンクール 表彰式
2	26	第26回高校生小論文コンクール 学校別伝達式 (読売新聞地区版で紙上)
2	26	第26回高校生小論文コンクール 優秀賞作品集の作成
3	15	評議委員会
3	15	第26回高校生小論文コンクール 集約・奨励賞作品集の作成

(敬称略・順不同)